

## 外部計量器とのデジタル接続

GC は、A&D 社製の計量器（天びん・はかり）を、外部スケールとして使用することが可能です。

### 接続準備

1. 外部計量器側の設定

ストリーム出力に設定してください（各外部計量器の取扱説明書を参照ください）。

2. GC 側の設定（取扱説明書「13. 内部設定」参照）

内部設定 F-05-03 を「2」に設定します。

設定値	内容
2	計量器

通信設定を外部計量器と合わせてください。

内部設定 F-05-04 でボーレートを設定します。

設定値	内容
0	2400 bps
1	4800 bps
2	9600 bps

内部設定 F-05-05 でビット長、パリティビットを設定します。

設定値	内容
0	7bit, Even
1	7bit, Odd
2	8bit, None

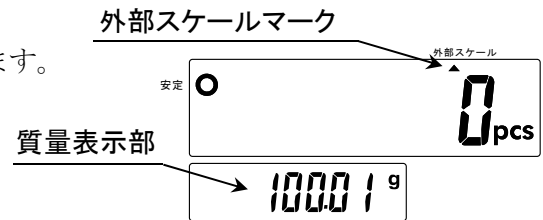
3. GC と外部計量器を **RS-232C クロスケーブル**（AX-KO1371-200 など）で接続してください。

## 操作方法

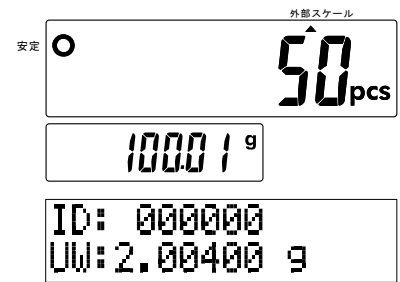
1. GC と外部計量器の電源を ON します。
2. GC の **外部スケール** キーを押します。
  - GC の内部設定 F-05-03 が「0」の場合、**外部スケール** キーは動作しません。

外部  
スケール

3. 外部スケールマークが点灯し、質量表示部に外部計量器と同じ計量値（表示カウント）が表示されます。
  - “Error 5”表示となる場合、外部計量器のデータを受信できていません。通信設定やケーブルを確認してください。
  - 外部スケール** キーを押すごとに内部スケールと外部スケールが切り替わります。



4. 単重を設定（取扱説明書「8. 計数」参照）後、計数を行ってください。



## 注意事項

- 天びん接続（GC より最小表示が小さいもの）  
天びん側でサンプルによる単重登録することで**単重を精度良く設定する**ために使用します。  
**GC の計量性能が上がる訳ではないのでご注意ください。**
- はかり接続（GC よりひょう量が大きいもの）  
GC 側で登録した単重を用いて GC より重い総量の計数を行うために使用します。
- 単重は、GC（内部スケール）と共通です。
- サンプルによる単重設定の際、単重 = 外部計量器の表示カウント / サンプル数で算出します。  
表示カウントを用いるため、外部計量器の内部分解能の精度にはなりません。  
外部計量器のひょう量が GC と比べて非常に小さい場合、計数精度は悪くなります。
- GC が表示できる計量単位を使用することができます。  
外部計量器と計量単位を揃えて使用してください。
- 外部計量器を選択時、個数 = 表示カウント / 単重 で算出します。  
外部計量器の最小表示が 2 飛びや 5 飛びの場合、個数の切り替わりが荒くなるため、最小表示が 1 飛びのもののお勧めします。

- 外部計量器を選択時、GC はゼロ点マーク、正味量マークは点灯しません。  
また、ゼロキー、風袋設定キー、風袋引キーは動作しません。  
ゼロや風袋引きは外部計量器側のキーで操作してください。
- サンプルによる単重設定の場合、単重設定を行ったスケール側のみ **ACAI** が動作します。  
出荷時設定：ACAI 自動動作
- メモリ呼び出しまたはキー入力による単重設定の場合、両スケール側で **ACAI** が動作します。  
出荷時設定：ACAI 手動動作